

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前		清水 一成	所 属		大学院 法務研究科
			職 名		教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果
教育・ 学生 支援	0.35	法科大学院1年次の「刑法Ⅰ・Ⅱ」では、表面的な知識ではなく今後の刑事法学習の基盤となるしっかりした理論的知見を修得させたい。2年次の「刑法演習Ⅰ・Ⅱ」では事例問題の健闘・討論を通じて、自ら問題を発見し解決する力とともに文章力を養わせたい。最終学年の「刑事法総合演習」では、実務を意識した議論を行い、合格レベルの答案作成ができる力を身につけさせたい。「刑事政策」では刑事弁護士となったときの「こころ」を養わせたい。さらに、学部提供している「アドバンス刑法」では、法書を目指す意欲がある学生に対して、刑法の面白さを伝えて、法科大学院進学への助けとなる授業を行いたい。このほか、法科大学院の学生に対して学習指導を行うとともに、授業で知り合った学部学生にも進学等につちえアドバイスを与える。		0.35	授業評価アンケートではいずれの科目も一定の評価を得た。授業時間の使い方や小テストのあり方にはなお問題がありそうだと認識し、その改善に努めるようにした。また、双方向での授業の進め方を研究する必要を感じ、「アドバンス刑法」では徹底して対話形式を取り入れたところ、学生にも好評であり、また教育効果も上がっているように思われた。来期はLSの授業でも実践して行きたいと考えている。
研究	0.15	刑法解釈学的な問題についてもさらに研究するほか、沖縄県の飲酒運転の実態をデータに基づいて明らかにし、原因を究明し、それへの対策論などを研究してみたい。その結果がまとまれば論稿として発表したい。		0.15	沖縄県の飲酒運転根絶検討委員としての活動を通じて、この問題に関連する相当多数の資料を収集することはできた。ただ、その分析のためにはあまり時間が取れず、進捗状況は計画よりかなり遅れてしまっている。
社会 貢献	0.15	独立行政法人国立病院機構琉球病院医療観察法病棟の外部評価会議委員として医療観察法による同病棟の運営が適切かどうかを検討する。那覇地方裁判所委員として裁判所の抱える諸問題の解決に貢献する。沖縄県の飲酒運転根絶検討委員会委員として、飲酒運転全国ワースト1位という本県の状況を改善したい。		0.15	琉球病院医療観察法病棟外部評価会議は6月と11月に2回開催されたが、都合により6月のみ出席し、適宜意見を述べた。地裁委員会は7月と11月に開催され、2回とも出席して意見を述べた。飲酒運転根絶検討委員会は4月6月8月と3回開かれ、いずれにも出席して意見を述べた。なお、飲酒運転については、委員会として県への提言が行われ、作業は終了した。
管理 運営	0.35	法務研究科における入試委員長として、本年度の入学試験を瑕疵なく実行し、できるだけ応募者を増やし、ひいては優秀な入学生を一人でも多く獲得するよう務める。また、今後のよりよい入試体制を模索してゆきたい。また、副研究科長として、科長の職務を助け、当法科大学院の存立と運営にいつそう寄与したい。全学的な活動としては、大学院委員会等複数の重要な委員会委員を委嘱されているので、職責を全うして琉球大学の発展に寄与したい。		0.35	入試に関しては様々な工夫をした結果、競争倍率2倍をキープしつつ昨年を4名上回る12名の入学者を確保できる見通しとなった。しかし年々厳しくなっているのは事実で、来年度は学部からの志願者減が予想されるためより一層の努力が求められよう。全学的な活動としては、第2期法人評価のための法務研究科の教育および研究に係る現況調査表を作成したほか、懲戒委員会委員として事実調査委員会委員長を務め報告書の作成作業を行った。
	0.00			0.00	
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		藤田 広美	所 属		大学院 法務研究科	職 名		教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果			
教育・ 学生 支援	0.60	近年の入学者の能力水準の低下は顕著であり、教育のあり方、学生支援のあり方については、抜本的な変更の必要を痛感している。従来の実施方法を根本的に見直して、講義水準を落とさないようにしながら、効果的な教授法の開発を試みる。学生支援としては、1人1人にきめ細かな対応を徹底し、学修支援を充実させたい。		0.60	根本的な教授方法の変更にまでは至らなかったけれども、実施方法のマイナーチェンジを行い、学生の理解到達度に応じた発問対話や講義水準の見直しを行った。学生1人1人の個性を見極めた細やかな対応は実施できたと思う。			
研究	0.10	数年来、研究を続けているテーマがあり、これらについては、講演活動や調査を継続させながら、学会誌ないし商業誌に掲載することを計画している。		0.10	研究テーマの1つである争点整理の活性化に関しては、札幌弁護士会にて講演を行い、その成果を法学教室に掲載した。			
社会 貢献	0.20	沖縄県労働委員会会長公益委員、琉球銀行補欠監査役として、社会貢献活動を継続する予定である。特に、今年は、県内企業との懇談の場を増加させることを予定しているほか、他県の労働委員会からも講演要請が来ているなど、従来以上に社会貢献活動の充実が期待される。		0.20	左記労働委員会会長としての活動はもとより、県内企業トップとの親交を深め、那覇地裁簡裁判事推薦委員会委員としての活動や各種講演を実施し、本学教員としての社会貢献は一定程度果たし得たものと考えている。			
管理 運営	0.10	広報委員会等と調整しながら、入学希望者の獲得に向けて広報活動の助力をする。		0.10	司法試験予備校での説明相談会に出席して学生獲得活動をしたほか、同予備校で講演を実施し、本学法科大学院の周知に貢献できたものと思う。			
	0.00			0.00				
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。			
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。				

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		武田 昌則	所 属		大学院 法務研究科	職 名		教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果			
教育・ 学生 支援	0.50	授業においては、沖縄企業の実態分析のウェイトを高めた沖縄企業法務の内容を充実させるように尽力する。学生支援については、弁護士就職難の状況下で、合格者・不合格者を問わず、その進路を出来るだけ把握できるようなチャンネルを確保し、可能な限り新たな就職先を開拓する。		0.50	沖縄企業法務の開講を通じて交流が開始された株式会社沖縄債権回収サービスとの関係が、在校生の修了後も踏まえ、司法試験の可否にかかわらず就職支援を含む交流協定の締結につながる事となった。学生の進路の確保という意味で、一つのセーフティネットが構築されるにいたった。			
研究	0.10	北河隆之教授・比嘉正教授と共同で行っているプロ野球の球場でのファウルボール事故に関する判例研究の成果を学術論文として発表する。		0.10	北河教授・比嘉教授らと共同で行った判例研究の成果を踏まえ、琉大法学96号(北河教授退官記念号)に「プロ野球の球場における打球事故に関する裁判例の検討」というタイトルの論説を投稿した。			
社会 貢献	0.20	担当している臨床法学教育科目(クリニック)において実施する法律相談につき、那覇市との連携協定を踏まえ、LGBTに関する法律相談会を実施する。		0.20	担当している臨床法学教育科目(クリニック)において実施する法律相談につき、那覇市との連携協定に基づき、那覇市女性センターにおいて、沖縄弁護士会の両性の平等に関する委員会の支援も得て、LGBTに関する法律相談会を実施した。			
管理 運営	0.20	FD委員会委員長として、授業評価アンケートの収集・分析を行い、これに基づき授業参観を実施するとともに、学生との意見交換会を行って学生の意見を踏まえたFD活動を行う。		0.20	FD委員会委員長として、授業評価アンケートの収集・分析を行い、これに基づき授業参観を実施するとともに、学生との意見交換会を通じ学生の意見を踏まえた提言を行ったほか、成績判定会議後開催のFD会議で個々の学生の特徴について情報交換をする機会を設ける形での試みが奏功し、定例化することができた。			
	0.00			0.00				
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。			
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。				

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		高良 鉄美	所 属		大学院 法務研究科	職 名		教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果		
教育・ 学生支援	0.25	<ul style="list-style-type: none"> ・ハワイ研修プログラムにおいて学生の法曹になるための心構えを、現地のロースクール生と活発に意見交換ができるように指導していきたい。 ・担当年度の指導学生をこれまで以上に意見交換や情報交換を行っていききたい。 ・グローバル教育の視点を中心に、学生に地域問題と国際的問題を意識した教育を行っていききたい。 			0.20	<ul style="list-style-type: none"> ・ハワイ研修プログラムは例年度以上の実績があったと思う。28年度は、2週間学生に研修指導ができたので、成果が上がったと思われる。 ・担当年度の指導学生で3年の修業年限で修了した学生が少なく、少し残念に感じたが、履修指導そのものはできたと思う。 ・グローバル教育の視点を中心に、学生に地域問題と国際的問題を意識した教育は提供科目の授業でもそれなりにできたと思う。 		
研究	0.30	<ul style="list-style-type: none"> ・研究論文を年2回書き上げ、加えて共著の出版物等も書き上げていきたい。 ・東アジア・沖縄(琉球)共同体学会の共同代表として立ち上げられるようしっかり設立大会を成功させたい。同学会での報告を引き続き年1回は行いたい。 ・九州法学会理事の役を引き続き対応していきたい。また、11月に開催される日中公法学会シンポジウムを開催校代表としてもきちんとなさるよう頑張りたい。 			0.35	<ul style="list-style-type: none"> ・研究論文は数の上では年2回書き上げた。一つは学会報告が中国語翻訳にもなった。共著の出版物等は来年度に持ち越しとなった。 ・東アジア・沖縄(琉球)共同体学会の共同代表として司会をし、設立大会を成功させた。年度末に、同学会で報告した。 ・九州法学会理事の役を引き続き対応した。日中公法学会シンポジウムは予算的に厳しかったが、開催校代表として挨拶、報告を含め実績を残した(報告集に所収)。 		
社会貢献	0.30	<ul style="list-style-type: none"> ・沖縄県新県史編集委員として、また同県史の現代部会長の役割をしっかりと発揮したい。 ・沖縄県憲法普及協議会会長として、本年度も憲法講演会をはじめ社会的活動を行っていききたい。 ・沖縄弁護士会の資格審査委員としての仕事に対応しなければならない場合には、しっかりとやり遂げたい。 			0.30	<ul style="list-style-type: none"> ・沖縄県新県史編集委員として、1回、また同県史の現代部会長として、3回の会議主宰をしっかりと行った。 ・沖縄県憲法普及協議会会長として、憲法講演会および総会を運営し、社会的活動は高く評価されると思う。 ・沖縄弁護士会の資格審査委員としての会議招集はなかったが、弁護士会との協議会には毎回参加した。 		
管理運営	0.15	<ul style="list-style-type: none"> ・教務・学生委員会の委員長として、カリキュラムや学生の身分関連問題の審議、各種学生の勉学のためになる講演会等の企画を含め、頑張りたい。 ・国際交流委員として、国際交流はもちろんのこと県内の自治体との協力関係の形成についても、積極的に取り組んでいきたい。 			0.15	<ul style="list-style-type: none"> ・教務・学生委員会の委員長として、カリキュラムや学生の身分関連問題の審議等、教務委員会を頻繁に開催した。教務委員長として、運営委員会に出席し、他法科大学院との会議などにも参加した。 ・国際交流委員として、国際交流はもちろんのこと県内では西原町との協力関係の形成について、まだ成果は出ていないが、町長を訪問し、積極的に取り組んだ。 		
	0.00				0.00			
計	0.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 			1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		比嘉 正	所 属	大学院 法務研究科		職 名	教授
領域	業務 ウエイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定		業務 ウエイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果		
教育・ 学生支援	0.30	今年度は、前期にLSの講義(基礎法学入門、民事法基礎演習、クリニック)の他に、大学院人文社会科の講義(民法特論Ⅰ)および学部の講義(家族法)を担当する予定である。また、後期にLSの講義(民法演習Ⅱ、家族法、エクスターンシップ)の他に、大学院人文社会科の講義を担当する予定である。今年度は、学生に講義内容をしっかりと理解させるために、工夫していきたい。		0.30	今年度は、前期にLSの講義(基礎法学入門、民事法基礎演習、クリニック)と大学院人文社会科の講義(民法特論Ⅰ)および学部の講義(家族法)を担当し、後期にLSの講義(民法演習Ⅱ、家族法、エクスターンシップ)を担当した。今年度は、学生に講義内容を理解させるためにレジュメや資料の充実の他に、双方向の授業の更なる充実を試みたが、その試みは概ね良好であると評価された(たとえば、LSの授業評価アンケートで5段階中平均4評価であった)。		
研究	0.40	今年度は、琉大法学95号、96号に判例研究および論文を単著で発表する予定である。		0.40	今年度は琉大法学95号および同96号にそれぞれ判例研究と論文を発表したほか、法学論集(九州国際大学)23巻1・2・3合併号に論文を単著で発表した。さらに、共著で判例地方自治412号に判例研究を発表した。		
社会 貢献	0.10	今年度は、那覇市公平委員会委員として、那覇市役所内で生起する問題の対応に当たる予定である。		0.10	今年度は、那覇市公平委員会委員として、那覇市役所で生起した問題の対応に当たった。		
管理 運営	0.20	今年度は、全学の二つの委員会の委員として会議やフォーラム、相談処理に当たる予定である。また、LSにおいては、FD委員として授業改善や学生指導のための会議を企画・実践する予定である。		0.20	今年度は、全学の二つの委員会の委員として会議やフォーラムに出席したほか、学内で生起した問題解決のための相談や調査委員会の委員長としてその処理に当たった。また、LSにおいては、FD委員として、教員の授業内容の充実や学生指導のためのFD会議を実施した。		
	0.00			0.00			
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウエイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウエイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。			